

活動報告

ところざわ倶楽部

野老澤の歴史をたのしむ会

「造幣局さいたま支局」見学会

2024年12月10日 記 内野克彦

- 実施日 2024年12月5日(木) ■参加者 21名
- 場所 造幣局さいたま支局(さいたま市大宮区北袋町1-190-22)
- 行程 集合 9:00 新秋津駅 9:18 発 さいたま新都心駅 9:39 着
造幣局さいたま支局 10:20 着
見学 10:30~12:00 (約90分間)
ショッピングモール「コクーンシティ」前で解散 12:20

■造幣局さいたま支局の概要

造幣局は明治4年に大阪に本局が創設されました。明治12年に東京出張所(大蔵省内)を開設。その後昭和14年に豊島区に移転、さらに平成28年に現在地のさいたま市に移転されました。他に広島支局があります。



■業務内容

1. プルーフ貨幣の製造 美しい鏡面と鮮明な模様を有する金属工芸品的性格を持つ貨幣のことで、主に記念品として所有されています。
2. 勲章の製造 熟練した職員が細心の注意を払って製造しています。
3. 貴金属製品の品位証明 貴金属製品の製造、または販売業者からの依頼に応じて品位試験を行い、試験に合格した製品に品位証明記号を打刻しています。
4. 通常の貨幣は、主に大阪本局と広島支局で製造していますが、地震災害などで製造できなくなった場合に備え、さいたま支局で製造設備を保有し、いつでも稼働できるよう維持しています。

■通貨の歴史

中国では、紀元前16世紀から紀元前8世紀にかけて、「たから貝」が貨幣として使用されました。そこで経済に関する漢字に貝の文字が使われています。例えば貨幣の「貨」、財産の「財」、貯蓄の「貯」、消費の「費」、賃金の「賃」、貿易の「貿」等です。

日本では縄文時代には通貨らしき物はありません。物々交換です。獣の肉や魚はすぐに腐るので富の偏在がありません。原始共産主義の時代です。従って富に

まつわる戦争ありませんでした。次第に、米・布・塩などが貨幣の役割を果たすようになりました。これを物品貨幣といいます。

飛鳥時代 中国の「開元通宝」をモデルとして「富本銭」がつくられました。

奈良・平安 「和同開珎」が造られました。それから約 250 年間、金貨、銀貨、銅銭が造られました。その後約 600 年間、日本では貨幣は造られなくなり、代わりに、中国から輸入した貨幣が使われました。

鎌倉・室町 中国に砂金を輸出して、銅銭「永楽通宝」を輸入しました。

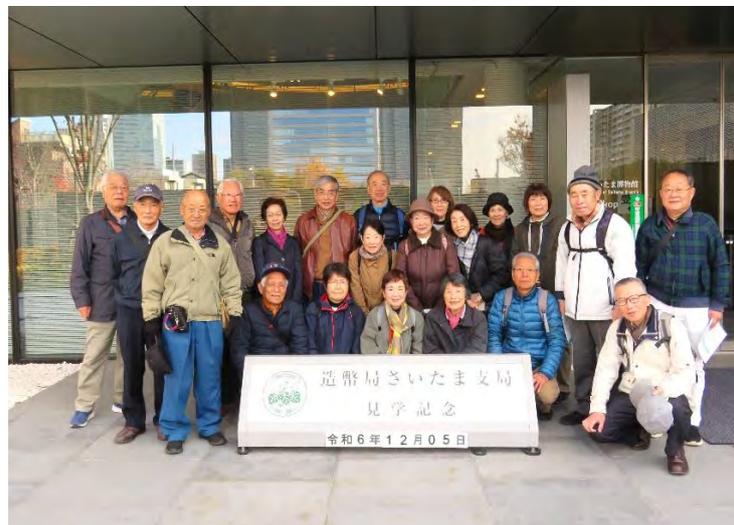
安土・桃山 金銀の採掘が盛んになり戦国大名は金貨や銀貨をつくりました。

江戸 徳川家康が貨幣制度を統一。日本との金銀交換比率の違いを利用して儲けようとする外国商人によって、大量の金貨が海外へ流出しました。

明治 近代的な貨幣制度を整えるため、明治 4 年に大阪に造幣工場を建設。日本の中央銀行として、日本銀行が設立されました。

大正 第一次世界大戦時に、ヨーロッパの国々が金の輸出を停止したため、日本も金本位制を停止し、金貨幣の製造を休止しました。

昭和 金本位制が完全に停止し、管理通貨制へ移行しました。戦時中、金属の不足により、陶器製の貨幣が造られましたが、使用される前に終戦となりました。1964 年、初めての記念貨幣である「東京オリンピック記念貨幣」が発行されました。



■今後の貨幣についての私の考え

以前ヨーロッパ出張の際、国が変わるごとに通貨を変えなければなりませんでした。出国する際、残ったコインは次の国で両替が出来ないため、ムリにチョコレートやタバコを購入しました。

その後ユーロになり、両替の必要が軽減しました。クレジットカードが広まり、おつりも無くなりました。盗まれても、番号を控えておけば戻ってくるトラベラー

ズチェックも所有していました。日本円でのトラベラーズチェックを A 都市銀行が発行したので、パリの両替所で両替しようとしたら、A 都市銀行なんて聞いたことがないと言われました。本店に問い合わせっていて一時間ロスしてしまい、フランス料理の昼食予定が味噌ラーメンに変更になりました。

未来は全て電子マネーになり、博物館には財布が展示され、スリがいたことも表示されるでしょう。その時代もハッカーの対策が必要かもしれません。

最後に、私は富を平等に分けることは不平等だと思います。ただし前提条件として、病気の者等を社会が救済することで、努力をした者、運の良い者（先祖が努力したその資産を相続した者）が多くの富を得る。そうすれば、怠け者が少なくなり、文明は発展する。

■担当

E グループ 中村恵子、伊藤裕章、國谷征治、小倉洋一、内野克彦